

北関東最大規模の スロ専で栃木初進出



島上の装飾が目引くバラエティーコーナー



くるくると回転し、島上をにぎわせていたロゴ入り照明器具

天井高は約6m、通路幅は4m。開放感があるつくり



華やかな光と装飾で
「非日常感」を演出

宮城県を中心に、6県で16店舗を展開するカツヨシ商事が9月19日、「メルヘンワールド足利店」をリニューアルオープンした。

場所は、栃木県足利市の中心部から1駅隣（東武伊勢崎線の野州山辺駅）の、県道5号線沿い。同社がM&Aにより買収したパチスロ専門店で、2019年10月1日から元の屋号で営業を続けていたが、シルバークワイークにあわせ、店名を変えての再デビューとなった。

小幡光生ブロック長は、「昨秋から1年間かけ、メダル洗浄機などの設備を入れ替えてきたので、今回は大きな変更を行っていません。ただ、装飾関係は、かなり力を入れました」

店名変更に伴う看板やネオンの差し替えはもちろんのこと、照明器具や店内の装飾品を一新。

島上には、店舗のロゴマークをあしらった見映えのするパネル、通路には合計10台のデジタルサイネージを配置し、色とりどりの光あふれる、華やかな空間を演出した。

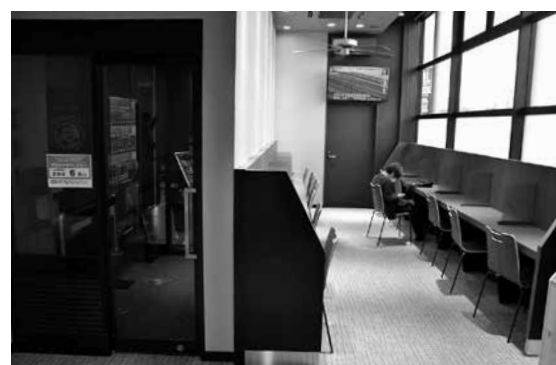
「コロナ禍で、どうしても雰囲気沈みがち。アミューズメント産業として、にぎやかな「非日常感」を提供したいと考えました。他店との差別化を図った面もありますが、個人的にも華やかな場が好きなので」



デジタルサイネージがズラリと並ぶメイン通路



「固定客がつつつつある」という6.25円コーナーも、なかなかの盛況ぶり



コンセント、USBポート完備の休憩室。写真左は喫煙ブース（5～6人用）



DATA

■所在地	栃木県足利市 借宿町619
■リニューアルオープン日	2020年9月19日
■経営	㈱カツヨシ商事
■代表者	琴亮吉氏
■店舗数	16店舗
■総台数	560台



店舗のロゴが躍るカウンター。賞品交換用セルPOSをも設置している

なお、リニューアルを機に、全席に台間ボードを設置するなど、コロナウイルス対策にも、抜かりはない。

パチスロファンを喜ばせる 豊富なラインアップ

パチスロ専門店としては、北関東最大級。リニューアル以前からパチスロの稼働は、エリア内でトップをキープしていただけあって、オープン初日は9割弱、続く3日間も7〜8割稼働と、好調なスタートを切った。主力を担う定番機種だけではなく、「SLOTバジリスく〜甲賀忍法帖〜絆2」（12台）、「パチスロモンキーターンIV」（8台）といった準主力機やバラエティー機の貢献も大きかったとか。

小幡ブロック長は、「競合店で導入台数が少ない機種を設置したのと、『どうせ打つなら専門店へ』『メルヘンワールドへ行けば、あの台が遊べる』と、パチスロファンの認知が進んだおかげでは」と振り返る。

そんなパチスロファンの期待に応えるべく、昨年9月以前までは1ボックス程度だったバラエティーコーナーを、4ボックス半までに拡充。豊富な機種ラインアップを実現している。

「弊社初のスロット専門店で、しかも、栃木県初出店。重責ではありますが、私自身、一パチスロファンとしてワクワクしています。足利や近隣のユーザーに愛される専門店を目指して、頑張ります」と意気込みを語った。